

議会での主な審議内容をお知らせします

議会だより 第177号

2021年(令和3年)12月定例会号

京

極

町



サンピラー現象

幻想的な冬の朝

写真提供者：小林大祐さん

2

ページ

12月定例会の主な審議内容

6

ページ

ズバリ聞く! 京極町のいま・これから 一般質問

14

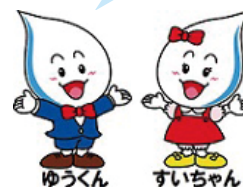
ページ

令和3年度 委員会視察レポート



京極町HP

議会に関する情報は、
町のホームページでも
公開しています。



ゆうくん

すいちゃん

令和3年 第4回定例会 12/16～12/20

専決処分

令和3年第4回定例会は12月16日に招集され、会期を5日間と決めたあと、諸般の報告、行政報告、監査報告、各委員会所管事務調査報告、一般質問、専決処分2件、条例制定1件、条例改正3件、補正予算1件、その他議案2件、決議1件、決議案2件、意見案1件を審議し、20日に閉会しました。

【工事変更内容】 仮設工事の増加により費用が増額した。

京極町簡易水道浄水場設置（その1）工事請負契約額の変更（報告済）

【工事名】 京極町簡易水道浄水場設置（その1）工事

【工事場所】 京極町字川西

【契約の金額】

変更前 8億6900万円

増額金額 6179万8千円

変更後 9億3079万8千円

【契約の相手方】 樋口・日星・古屋経常建設共同企業体

【工期】 自 令和3年6月18日

至 令和5年3月17日

令和3年度京極町水道特別会計補正予算（第1回）（承認）

【内容】 令和3年度京極町簡易水道浄水場設置（その1）工事

において、仮設工事が増えたため、令和3年度の出来高の一部が令和4年度に先送りされたことから、令和4年度分である債務負担行為の限度額を6億円から6億6179万8000円に変更するものです。

条例制定

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づく固定資産税の課税の特例に関する条例の制定（原案可決）

【内容】

「過疎地域自立促進特別措置法」が令和3年3月31日に失効し、同年4月1日に「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」が施行されたことに伴い、本町はこれまでの過疎地域から、新法附則第5条に規定する



特定市町村となり、令和3年度から令和8年度まで6年間の経過措置が講じられたことから、本年9月に策定した「京極町過疎地域持続的発展市町村計画」に記載の産業振興促進業種において、一定の要件を満たす事業用資産を取得等した場合に、固定資産税を3年間、課税免除を行うことにより、本町での設備投資を促進し、雇用の維持や創出をすることにより、産業の振興、地域経済の活性化を図ることを目的とし、条例を制定するものです。

条例改正

京極町企業振興促進条例の一部改正（原案可決）

内容

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が施行されたことに伴い、本町企業振興促進条例の一部を改正するものです。

主な改正は、企業が事業の創業に直接使用する土地、建物及び附帯設備を新設又は増設した施設で、それら施設の固定資産取得価格の要件を「1000万円以上」から「200万円以上」に引き下げるものです。また、農林水産物等販売業を行う事業所については、常時従業員数が1人以上であることとします。

京極町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

(原案可決)



内容

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の公布・施行に伴い、文言の整理を行うものです。

京極町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

(原案可決)

内容

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準及び子ども・子育て支援法施行規則の一部改正に伴い、文言の整理を行うものです。

補正予算

令和3年度京極町一般会計補正予算(第3回)(原案可決)

内容

予算の総額に、2698万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を41億3126万4千円とするものです。

歳入の内容

【地方交付税】

・地方交付税

917万2千円減額

【負担金】

・老人福祉施設入所者費用徴収金

163万2千円追加

【国庫負担金】

・新型コロナウイルスワクチン接種事業負担金

398万5千円追加

【国庫補助金】

・子ども・子育て支援事業費補助金

135万円追加

・子育て世帯への臨時特別給付金

4089万1千円追加

・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金

736万3千円追加

・疾病予防対策事業等補助金

28万9千円

【道補助金】

・地域づくり総合交付金(福祉事業分)

25万円追加

・介護サービス提供基盤等整備事業費補助金

40万円

・小規模治山事業補助金

1790万円減額

【寄附金】

・ふるさと納税寄附金

1700万円追加

今後の寄附額の見込みとして、補正するものです。

ふるさと納税寄附状況

年 度	件 数 寄 附 金 額
令和2年度 (4/1~3/31)	5,143件 5,923万円
令和3年度 (4/1~12/31)	8,299件 9,176万円

【町債】

・小規模治山事業

1910万円減額

歳出の内容

【総務管理費】

・ふるさと納税決済手数料

17万円追加

・ふるさと納税業務委託料

1105万円追加

【社会福祉費】

・印刷製本費

2万6千円追加

・通信運搬費

6万1千円

・福祉灯油助成金

75万円追加



【保健衛生費】

- ・システム改修等業務委託料 46万2千円
- ・会計年度任用職員報酬 39万4千円追加
- ・時間外勤務手当 88万円追加
- ・消耗品費 40万円追加
- ・燃料費 1万8千円
- ・印刷製本費 15万6千円追加
- ・光熱水費 1万円追加
- ・医薬材料費 30万円追加
- ・通信運搬費 14万3千7千円追加
- ・ワクチン接種事務手数料 21万8千円
- ・ワクチン接種委託料 5万7千1万円追加
- ・システム改修等業務委託料 72万円追加
- ・コピー借上料 70万5千円追加
- ・接種会場物品等借上料 40万円追加
- ・備品購入費 37万0千円減額
- ・中野地区小規模治山工事 37万0千円減額
- ・グラウンド整備工事 4000万円

【児童福祉費】

- ・介護予防拠点防災意識啓発備品購入費 40万円
- ・老人福祉施設措置費 222万3千円追加
- ・時間外勤務手当 18万円
- ・児童手当システム改修委託料 13万2千円
- ・消耗品費 3万円
- ・印刷製本費 8万2千円
- ・通信運搬費 4万7千円
- ・払込手数料 2万2千円
- ・児童手当システム改修委託料特別給付金分 55万円
- ・コピー借上料 1万円
- ・子育て世帯への臨時特別給付金 4000万円

【中学校費】

- ・光熱水費 211万円追加

その他

京極町の一般廃棄物の破碎処理に係る事務の委託に関する規約の変更に
関する蘭越町との協議（原案可決）

内容

京極町を含む6町村（二セコ・真狩・留寿都・喜茂別・京極・蘭越）は平成15年10月より、粗大ごみ、不燃ごみについては蘭越町へ搬入し破碎処理をしておりましたが、令和元年5月、蘭越町より破碎処理施設の休止の提案があり、協議の結果、蘭越町の破碎施設は休止、令和2年4月1日からは民間業者に処理を委託しております。関係6町村による粗大ごみ広域破碎処理事務委託の終期が平成34年3月31日までとなっており、引き続き不測の事態に備えるため、また蘭越町の破碎処理施設が法定耐用年数に達していないことから、事務委

土地改良事業計画の変更

（原案可決）

内容

土地改良施設、双葉ダムの適正管理を図るため、土地改良法第96条の3第1項の規定により、土地改良施設の維持管理事業計画を変更するものです。

主な内容は、これまで、水稻を前提とした用水計画とされていましたが、畑転換が進み水需要の変化がみられることから、畑地をかんがい区域に編入し、それに伴い、これまでの取水期間の5月12日から8月30日を5月1日から9月20日に変更するものです。また、喜茂別町が受益除外となります。



決 議

京極町包括業務委託の公募型プロポーザル実施に係る事務及び業務委託に係る事務の調査特別委員会設置に関する決議（原案否決）

内容 提出者 菊地篤志 議員
後藤議員から賛成討論があり、

村上議員、鈴木議員、城田議員から反対討論がありました。起立採決の結果、起立少数で否決されました。

京極町除雪業務委託の一般競争入札実施に係る事務及び業務委託に係る事務の調査特別委員会設置に関する決議

（原案否決）

内容 提出者 渡邊 昭 議員
菊地議員から賛成討論があり、

大野議員から反対討論がありました。起立採決の結果、起立少数で否決されました。

発 議

京極町議会会議規則の一部改正（原案可決）

内容 議員活動と家庭生活との両立支援策をはじめ、男女の

議員が活動しやすい環境整備の一環として、出産、育児、介護など、議員として活動するに当たっての諸要因に配慮するため、議会への欠席事由を整備することともに、出産については母性保護の観点から産前産後の欠席期間を規定するものです。

また、請願者の利便性の向上を図るため、議会への請願手続について請願者に一律求めている押印の義務づけを見直し、署名または記名押印に改めるものです。



意 見 案

地球温暖化、海水温上昇に伴う水産漁業被害の解明と支援策を求める意見書

（原案可決）

提出者 村上 敦 議員

海水温の上昇が、漁業に大きな影響を及ぼしているものと推察され、地球温暖化・海水温上昇の原因の究明が急務となっています。また、新型コロナウイルス感染症対策による飲食店での消費減退に伴う魚価安が水産漁業者の不安を増幅させていることや、今年9月以降に発生した赤潮により、ウニや秋サケ、ブリ、ツブ、シシャモなどに被害が及ぶなど、大きな経済的損失を被るとともに、来年以降の漁に大きな不安を生じさせています。よって、カーボンニュートラルの実現や、経済支援策について要望を行うものです。

【提出先】衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・内閣官房長官・財務大臣・総務大臣・農林水産大臣・国土交通大臣・厚生労働大臣・環境大臣

表紙写真

あなたの写真が議会だよりの表紙になります。

テーマは「京極大好き！」

京極の美しい風景、みなさんの笑顔、季節を感じる写真など、なんでも結構です。詳しくは議会事務局（42-2111）まで。ご応募お待ちしております。



議会を傍聴しませんか？

京極町議会の本会議は、どなたでも傍聴できます。庁舎2階の議会事務局で受け付けを行っていますので、ぜひ傍聴にお越しください。

次回の定例会は
3月中旬開会予定です

一 質 問

オロツコ川放水路が完成 流量の調整は

町 長
道と連携を図り、下流の旭川とも
連動して行う

問

長年の計画でオロツコ川放水路が完成しました。当時の計画では、災害時における放水路だと思っています。河川の改修なので、既存の川には既存の水を流すのが普通ではないかと思いますが、どのようにするのかお伺いします。

放水路に付随してサイホン工事が行われ、完成後は町に移管されています。打合せ当時の記録簿には、土地の一部を作業するため宅地にさせていただき、工事完了後土地は返還、宅地した土地は完成後原形を復旧すると書かれていますが、町長は、さきに粘り強く交渉していくと言われていましたが、どのようなことを交渉されたのかお聞かせください。

答

梅田町長 オロツコ川放水路は令和2年12月に工事を完了したところであり、大雨や融雪期などにオロツコ川の流量を適切に調整することで防災、減災に効果を発揮するものと期待しています。流量の調節は、道の小樽建設管理部真狩出張所と連携を図りながら、下流の旭川との連動にも留意して行っていく考えです。

サイホン施設に関しては、農地の耕作者に町としての対応を提示し話合いの場をお願いしています。調整ができておらず、担当課から何度か連絡を取っているものの進んでいない状況です。速やかに話合いができるよう対応していきたいと考えています。

オロツコ川の維持管理

問

土砂がたまるのであれば、町で取り除いて、いち早く対応するのも一つの方法だと思います。

答

サイホン工事の埋立てしたところに土砂以外のものも埋まっていたのはご存じでしょうか。そこも農地ですし、いつまで無断で使われていくのか教えてください。

梅田町長 オロツコ川の放水路分岐点付近の土砂取りなど維持管理については、役割分担を真狩出張所と協議をしていただいていると思います。埋め戻されていたところに土砂以外のものが埋まっていたことは、8月に情報



小柳 光 義 議員

ズバリ聞く！ 京極町のいま・これから

オロツコ川放水路（写真上部が下流、写真中央左がオロツコ川への樋門）



をいただき、確認しました。工事では使っていないタイル片があり、耕作者のご家族にお話をされたと伺っています。

サイホン工事の関係は、ご本人とも連絡を取りながら、具体的な

話合いができるように取り組んでいきたいと思っています。

防災行政無線の活用

問

「京極町防災行政無線の活用について」という資料の

6の3をいただきました。1放送の原則、2放送日及び放送時刻、3放送内容とありましたが、どこが変わっているのですか。町長は、昨年他町村の無線放送を把握し運用していくと言われていますが、どこが他の町村の運用を参考にされたのか伺いたします。

答

梅田町長 防災行政無線の運用基準の策定に当たり、

管内町村の運用状況も含めて聞き取り、それらを踏まえて災害時など緊急事態への対応を主眼として整備した防災行政無線の機能に沿った運用基準としたところです。当面は、この基準に基づいて運用して実績を積み重ねていく中で町民の具体的な要望があれば、防災行政無線で周知すべき事項として適切かどうかを判断して対応していきたいと考えています。

問

11月のまちづくり懇談会で、「防災無線でインフルエン

ザワクチンの予防接種の案内をしていただけなのか」という質問がありました。はつきりしない返事で、質問された人は「もういいです」と質問をやめてしまいました。その1週間後ぐらいに、インフルエンザの予防ワクチン接種を行いますと防災無線で流れていました。1週間ぐらいの間に言うのであれば、懇談会のときにもう少し考えられなかったのでしょうか。また、当時配られたペーパーの中に行政放送、緊急を要する場合でも夜間は放送しないのですか、お伺いいたします。

答

梅田町長 12月2日のイン

フルエンザワクチンの受付に関して、まちづくり懇談会のときには供給が見通せないというところでお話をしたのですが、その後供給されることが確定になったので12月1日に、急遽防災無線を使つて放送しました。

夜間放送は、緊急なことであれば、夜間でも放送するという規定ですので、全く夜間は放送しないということではありません。



一般質問とは、議員個人が町政全般について町長等に

一 質 問

元気いっぱいな現役世代を 町に呼び込みませんか

町 長

北海道の移住定住ポータルサイトを活用し、京極町を道内外へ積極的に発信していく

問

移住については、本町のアピールポイントを明確にしていくことが大事だと考えます。町のプロジェクトチームや移住サポートセンターの設置など、具体的に進めていく必要があると考えますが、いかがですか。

答

梅田町長 移住については、地域の皆様のご理解、ご協力が大変大切であると考えています。本町の創業支援なども、移住定住ポータルサイトを活用し、町内の小売店の状況などをご紹介し、新規開業を考えている方々の参考になるように努めていきます。

問

地域おこし協力隊の今後の募集方法や配属先について伺います。

答

梅田町長 募集は町内のニーズの把握に努めながら、役場と協力隊員の役割を明確にした上で、視点を生かした発想と活動が推進できるよう、地域の活性化を考えています。活動を可能にする地域のサポート体制の充実も重要と考えています。

問

京極温泉や名水プラザなど公募型プロポーザルの提案内容について、町の協力によって民間事業者との効果的な運営を望みますが、いかがですか。

答

梅田町長 町内の雇用確保といった視点も含めながら、できる限り自由な発想で事業を提案していただけるよう、留意していきたいと考えています。

3回目のワクチン接種

問

今後のスケジュール等、分かる範囲でお答えください。

答

梅田町長 接種対象者は「満18歳以上」「既にワクチンを2回接種済み」「2回目接種から原則8か月が経過している方」

この3つが満たされている方が3回目接種の対象となります。使用するのは、ファイザー社とモデルナ社のワクチンを使用します。接種開始時期と接種順については、高齢者から順に接種を始めます。なお、2月以降からは医療従事者の方々を対象とした接種を始めます。



城田 幸俊 議員

ズバリ聞く！ 京極町のいま・これから

タブレット端末を使った授業風景（京極中学校）



2年ぶりに実施の学力テスト、結果は

問 小中学生の基礎学力は、今後町内で暮らしていくためにも、将来京極町から羽ばたいて

いくためにも大事なものです。本年の学力テストも2年ぶりに開催されています。来年3月の教育行政執行方針で確認したいと思っていますので、結果についての考察を伺います。

答 中村教育長 本町の小学校は、国語は全道・全国の平均を上回りました。算数は全道の平均を上回り、全国平均をわずかに下回るものでした。中学校は、国語・数学共に全道・全国平均を下回り、その差に若干の開きが見られました。

こうした結果を踏まえ、今後の対策・対応として大切なことが3つあると考えています。1つ目は小中両校の分かる授業を目指した授業改善のさらなる推進、2つ目は勉強しようという意欲につながる学習規律の定着を目指すこと、3つ目は家庭での望ましい生活習慣、早寝早起き朝御飯、スマホの使用時間などの改善、これらを定着させることだと思っています。

問 GIGAスクール構想について、今後は子供たち一人一人に最適化された教育を進められるかどうか、教育現

場の真価を問われることになると思います。実現に向けての、たとえば高校生や大学生など、教職員以外の協力が必要なのではないかと考えますが、いかがでしょうか。

答 中村教育長 学校と家庭で自己肯定感が高まるよう取り組みながら、必要に応じて地域の皆様をはじめ、外部講師・ゲストティーチャーなどの招聘やそのほか支援の在り方も視野に入れて、教育委員会としても学習支援に努めていきます。

コロナ禍の中、1人1台の端末と学校や各家庭のWi-Fi環境がほぼ整い、今年度から本格的に活用されています。

ふだんの授業はもとより、諸事情により学校を欠席した児童生徒と、ズームで学校と家庭をオンラインで結んで授業を進めるなど、学習の補償への取組も行われています。



一般質問とは、議員個人が町政全般について町長等に

一 質 問

第6次京極町総合計画における 目標人口は

町 長

「2060年・目標2000人」を掲げ、
取り組みます

問

第6次京極町総合計画策定に当たり、最終案を来年の2月末完成に向け、鋭意努力されていると思います。人口減少に関わる取組は大きく掲げてきていますが、想像以上に人口減少が早いペースで進んでいる昨今であり、地域経済に与える影響が大きくなっています。「目標人口2060年・2000人」に置いたまま進めるのか、お聞きします。

答

梅田町長 現在、職員自らが20年、30年先を見据えてこれからの10年間で本町が取り組んでいかなければならないことを協議しながら策定を進めているところです。移住対策・Uターンの確保・出生数の増加対策など、さ

問

さまざまな取組を行いながら「2060年の目標人口2000人」を掲げて、今後10年間の計画を策定し、持続可能な社会の構築に向けてより一層の取組を実践していく必要があると考えています。

答

梅田町長 いろいろなデータをたくさん提供していくというところで、社人研のデータなどの資料も併せて提示する方向で考えています。

定住促進と農林業振興

「1次産業の人材育成」は

問

就労年代を増加させる取組は町にとって重要な課題だと思っています。宅地分譲施策は、平成30年度で最終年となっていますが、町長は今後の宅地開発分譲をどのように考えていますか。

また、京極町の新規就農者はここ10年で1人の状況です。経営体も80戸まで減少し、65歳以上が30%以上を占めるようになり、今後の農地保全、流動化対策は重要な課題となると考えます。1次産業の人材育成についてどのように考えているかお聞きします。



大野利明 議員

ズバリ聞く！ 京極町のいま・これから

ようてい農業協同組合担い手育成宿泊研修施設



答

梅田町長 宅地開発分譲に
関しては、当面は空き地や
空き家の紹介をホームページで行
うなど、個別の民間住宅等の活用
に取り組んでいるところです。
農林業の振興に関しては、JA

が進めている個別経営体に対する
作業支援と、集出荷施設運営に従
事する特定技能外国人の受け入れ
拡大にあたり、教育機能を持たせ
た住環境の整備も本町で行われて
おり、担い手不足の問題の一助と
なることを期待します。

恒久的な労働力の確保は、地域
型法人の設立や農業経営の第三者
継承といった視点も大切だと考え
ています。国や道等の育成支援策
の活用はもちろん、営農にあつて
は経営のノウハウや栽培管理の技
術等も必要となることから、北海
道指導農業士や各生産組織、JA
をはじめ関係機関などと連携し、
情報交換を通じて現況を的確に把
握しながら、必要な対策に取り組
んでいきたいと考えています。

従事者の安定的な雇用の確保に
ついて、林業分野では北海道立北
の森づくり専門学院といった、林
業人材育成機関から将来的に本町
に就業されるよう取り組むととも
に、林業技術者としての必要なス
キルアップへの支援などについて
も、いろいろと考えていきたいと思
います。

**空き家対策、林業の人材
育成を問う**

問

空き家対策として、リス
トアップ等含め、マッチン
グ対策で若手、また中央からの移
住者を求めていくというような形
の中で取ることができないか、お
聞きます。

答

林業も人材育成という部分は、
非常にお金がかかるし、費用対効
果が見えてこないという部分もあ
りますが、より多くの取組をやっ
ていただけたらどうか、ご意見を
お聞かせいただきたいと思います。

梅田町長

空き家バンクにつ
いては、空き家バンクを活
用しているところです。これか
らも継続的に空き家、空き地対策に
取り組んでいければと思います。
林業は技術者として育成され
た方について、本町に就職してい
ただけるよう、これからその専門
学院との関わりをしっかりと持っ
てやっていければと思っています。
森林組合がいろいろ取り組まれ
ることがあれば、また一緒に考え
ていきたいと思っています。



一般質問とは、議員個人が町政全般について町長等に

令和4年 第1回臨時会 1/21

令和4年第1回臨時会は1月21日に
招集され、補正予算1件、決議案2件を
審議し、同日閉会しました。

補正予算

令和3年度京極町一般会 計補正予算(第4回)(原案可決)

内容
予算の総額に、6686万
円を追加し、歳入歳出予算
の総額を41億9812万4千円と
するものです。

歳入の内容

【地方交付税】
・地方交付税
1013万円追加

【国庫補助金】
・住民税非課税世帯等に対する臨
時特別給付金給付事業費補助金
5583万円

・学校保健特別対策事業費補助金
90万円

歳出の内容

【総務管理費】

・印刷製本費 15万円
・通信運搬費 58万円
・燃油価格高騰に係る燃料購入券
助成金 700万円

【児童福祉費】

・子育て世帯への臨時特別給付金
150万円追加
・時間外勤務手当 45万円
・消耗品費 10万円

・通信運搬費 13万9千円

・払込手数料 6万1千円

・コピー借上料 8万円

・住民税非課税世帯等に対する臨
時特別給付金 5500万円

【小学校費】

・消耗品費 30万円追加

・小学校一般備品 60万円追加

【中学校費】

・消耗品費 40万円追加
・中学校一般備品 50万円追加

議会活動日誌

出席者はこのように表記しています

議長 副議長 正副議長 全員・議員多数

11月

13日

北海道倶知安農業高等学校創立
八十周年記念式典(倶知安町)

14日~15日

丸亀市行政視察(香川県丸亀市)

19日

議会運営委員会・委員会自主協議会
全員協議会

24日

後志町村議会議員研修会(ニセコ町)

25日

新嘗祭(八幡神社)

27日

倶知安町130年記念式典(倶知安町)

12月

1日

委員会自主協議会
全員協議会・議会運営委員会

10日

委員会自主協議会・総務並びに産業建設
合同常任委員会・議会運営委員会

16日

令和3年第4回定例会 開会

17日

令和3年第4回定例会 再開
議会運営委員会・全員協議会

20日

議会運営委員会・全員協議会
第4回定例会 再開・同日閉会・全員協議会

21日

令和3年第2回羊蹄山麓環境衛生組合定例会
(倶知安町) 後藤・村上議員

令和3年第2回羊蹄山ろく消防組合議会定例会
(倶知安町) 村上・後藤議員

1月

6日

新年交礼会(公民館)
消防出初式(総合体育館)

9日

成人式(公民館)

17日

全員協議会
議会だより編集委員会

21日

令和4年第1回臨時会開会・同日閉会
全員協議会

25日

議会だより編集委員会

2月

3日

議会だより編集委員会

10日

議会だより編集委員会

決 議

京極町における新型コロナウイルス感染症クラスター発生を防止する 決議 (原案可決)

提出者 菊地篤志 議員

新型コロナウイルスは、2020年1月に発見されて以来2年以上に渡り猛威を奮い世界の人類を脅かしてきた。

その後、国民の感染防止努力及びワクチン等の開発により一時は終息するかに見えたが変異を繰り返すオミクロン株と言う最強の感染力のあるコロナウイルスが現在出現している。

これまでも、国民の命と健康が脅かされ、経済活動も長期にわたり抑制される中、本町においても感染拡大防止策が講じられてきた。しかし昨今、羊蹄山麓ではクラスターや新たな感染者が多く発生してきており町民に大きな不安を与えている、よって京極町議会は新型コロナウイルス感染拡大防止の見地から京極町及び関係機関に対し以下の対策を講じるよう強く要求する。

記

1. ワクチンの接種を早急に行う事
2. PCR検査が速やかに行える態勢を作り無料で受けられるようにする事
3. 公共施設の利用を制限し感染拡大を防止する事、特に京極温泉の利用については例えば町内、町外を1日交替とするなどして感染予防の為、町民に理解をいただき利用制限を行う事

以上、決議する。

令和4年1月21日 京極町議会

京極町業務委託の指名競争入札執行に係る事務の見直しに関する決議 (原案可決)

提出者 渡邊 昭 議員

京極町除雪業務委託は令和3年10月25日に執行され、政令に違反して入札が行われた。

町執行者に対しては強く反省を求めると共に、今後は町民に疑念を持たれないように行う事を強く要求する。

記

1. 別紙提出を求める書類の一覧表を提出する事
 2. 京極町の除雪業務の平均化を図る為、企業組合及び工区の見直し等を行う事
- さらに、町民からの批判を受けないような除雪の充実を図り、事故のないように作業を行わせる事

(別紙) 提出を求める資料の一覧表

〔10月25日入札の除雪業務委託に関する資料について〕

- ①第4工区業務委託の予定価格を記載した書類
- ②第4工区業務委託の入札参加者と各社の1回目の入札価格を記載した書類
- ③第4工区の2回目の入札価格を記載した書類
- ④第4工区の入札から再入札を行った経過を記載したものを書面にして提出する事 (町長印が必要)
- ⑤入札に関する仕様書

察レポート

- ①ふきだし公園の整備状況
 - ②京極町創業支援事業
 - ③一般廃棄物最終処分場の管理状況
- この3項目を調査しました。



総務常任委員会

調査日 令和3年10月18日



湧水口の擬岩

ふきだし公園の整備状況 整備計画の策定を

ふきだし公園周辺整備は、平成29年度から3年間ごとの整備計画により実施されており、今年度は公園内案内看板の改修を進めている。

課題となっている湧水口の改修については、擬岩の破損が見られるなど、かなり老朽化している。また、周辺の樹木についても倒木の危険性があることから、専門家の意見を聞くなど現状を的確に把握し、整備計画を早急に策定していただきたい。

京極町創業支援事業

ホースバック カントリーを視察

商工業の活性化のため、町内で創業や業種の転換・追加をした場合、補助対象経費の2分の1以内を補助する事業として令和元年に創設された。

補助金の上限は、新規創業が200万円、業種の転換・追加が100万円である。

令和2年度の補助金交付実績は、新規創業が2件（飲食店・娯楽業）、業種の転換・追加が1件（製造業）となっている。今年度の申請は、調査日時点ではなかった。

今回視察したホースバックカントリーは乗馬クラブで、当時8頭の馬を放牧で飼育していた。季節を問わず外にいるのだが、その方が馬にとってストレスのない環境であり、ホーストレッキングを楽しむために道外から来るお客やリピーターもいると伺った。



オーナーから説明を受ける

町のプレミアム商品券も使用可能で、今後はふるさと納税の返礼品としても検討しているなど商業の活性化にご尽力いただいている。ホームペー

ジなどで事業の周知は図っているが、予定件数に達していないことから、更に工夫と努力をしていただきたい。

また、活用される方への環境整備についても要望を聞き、積極的に取り組んでいただきたい。

一般廃棄物最終処分場の管理状況 町民が安心できる 運営を

現在使用している処分場は、平成14年12月から稼働している。当初、破砕された粗大・不燃ごみを埋立てていたが、現在はし尿の焼却灰を年間約20kg埋立てている。放流水の調査なども問題はなく、埋立て可能な容量は十分あることから、今後は羊蹄山麓7町村の災害時における廃棄物処理など施設の活用について検討していくと説明を受けた。

旧処分場については、平成14年度に適正閉鎖工事を行い埋め立ては終了している。現在、廃止に向けて地下水などのモニタリング調査を行っているが、令和2年11月の調査でガス発生量が基準を超えたため、継続して2年間の調査が必要となった。今後もモニタリング調査を継続し、両処分場の適正な維持管理に努めていただきたい。

また、ごみの施策は町民の関心が高く重要であることから、今後も町民への周知と意見を聞く場を設けるなど丁寧な対応を要望する。

委員会視

- ①京極地区簡易水道浄水場設置工事の状況
- ②京極町下水終末処理場の現況と施設更新
- ③農作物の作況状況

この3項目を調査しました。



調査日 令和3年10月6日

産業建設 常任委員会

京極地区簡易水道浄水場設置
工事の状況

引き続き安全な
作業を

管路については、図面を用
いて説明を受け、埋設場所の
状況がわかった。

次に、浄水場設置工事につ
いて工程表と図面により説明
を受けた。工期は令和3年6



簡易水道浄水場設置工事の現場

月18日から令和5年3月17日
までである。作業は土工事が
主に行われており、現在は掘
削作業が行われていた。

今年度は躯体の地下部分
である水槽ができるまでの工
事、来年度は躯体の地上部分
及び設備据付や配管工事が主
となる。安全な作業に努めて
いただきたい。

京極町下水終末処理場の現況
と施設更新

下水処理のしくみを
確認

運転開始は昭和61年11月、
計画処理人口は2280人、
下水処理方法はオキシデー
ションデイツチ法、処理能力
は1日当たり1950立米。
汚泥処理については、濃縮し
て機械で脱水しており、汚泥
は最終的に倶知安町の廃棄物
処理業者で処理されている。

処理場の施設更新について
は、下水道ストックマネジメ
ント計画の優先度に基づき実

施しており、今年度は汚泥処
理棟設備の実施設計を行って
いる。

平成25年に主ポンプやエア
レータなど一部の機械につい
ては長寿命化対策を行ってい
る。

引き続き適切な管理と効率
的な運転、計画的な設備更新
に努めていただきたい。

農作物の作況状況

JAようてい馬鈴薯
集出荷選別施設を視察

本年は、5月に入ってから
は、低温や雨に見舞われ、若
干の遅れを伴う営農スタート
となった。

生育期における6月下旬か
ら8月中旬までは、降雨がな
く、7月中旬から8月中旬に
かけては気温が30℃を超える
日が続くといった「過去に類
を見ない記録的な猛暑と干ば
つ」が、作物全体に影響を及
ぼし、基幹作物である馬鈴薯
については、平年比20～30%



馬鈴薯の選別の様子

の収量低下。

種子馬鈴薯の状況について
は、坪堀調査の結果から、必
要量の80%の供給にとどまる
見通しとのことである。

不足分については、供給
調整を図っていくとのことであ
った。

次年度の営農継続に影響が
危惧されることから、支援を
国や道に要請されるとともに、
町としても、関係団体や関係
機関と連携して、実効性ある
対策を講じていただきたい。

ガンバル人

第4回

自家焙煎珈琲かふえもか店／つやごし京極プリン
Cafemocha Factory

京極町で「ガンバル人」を紹介します。第4回は、自家焙煎珈琲かふえもか店兼つやごし京極プリン Cafemocha Factoryのオーナー、駒谷さん夫妻です。

お店を始めたきっかけは

「ふきだし湧水」という最高の水で、最高の珈琲を提供できたら楽しそうだなと思って始めたのがきっかけです。

羊蹄山麓はいろいろな物があるため、ありきたりな商品では難しい…京極町の美味しい水、野菜を使った商品の開発を始めました。将来は生乳も使ってみたいです。京極町のお水はどこにも負けません。いかに活かしていくかだと思います。

ふきだし公園に観光客を呼び込むためには

日陰が少なく、休憩する場所も少ないため、どうしてもお客さんの滞在時間が短くなってしまうと思います。他町村の道の駅にはパラソル付きのテーブルなどがありますよね。

あとは、昔より犬を連れて移動する人が増えているので、ドッグランがあるとよいです。町民の方にも喜ばれると思います。展望台もとても素敵な場所なので、上って終わりではもったいないと思います。何か活用できればよいですね。

今後、新しく創業する人が増えてほしいと思いますか

どんどん増えてほしいと思いますが、商売を始めることは楽しいこともあれば難しいこともあり、楽ではありません。勤勉に物事に取り組む姿勢をもってほしいと思います。

お店の基本理念は

「美味しいものを創る」

お客さんが安心・安全に飲める、食べられるものを作っています。

今後の取組について

京極町の野菜や穀物などを使用した新しい商品づくりを考えています。

1月に発売した京極プリンの季節限定「じゃがいも」は、京極町産の男爵を使用しています。季節ごとに出すことで、お客さんの楽しみになるのではと考えています。

ほかにもかぼちゃやにんじんなど、野菜シリーズを計画中です。

京極町には野菜はたくさんありますが、果物があまりないイメージです。

定番のいちごなどがあれば良いですね。

また、この自家焙煎珈琲かふえもか店で珈琲のお供としてお出しするケーキも考えており、京極町の大豆や小豆を使用します。

ほかにもやりたい事業はありますが、人手が足りていない状況です。将来経営がしたいという従業員が1人います。経営の形態が違って、次の時代につなげてくれるような人材育成が大切だと思っています。



委員長 鈴木 敏行
副委員長 中村 厚子
委員 大野 利明
城田 幸俊

議会だより編集委員会

編集後記
京極町議会12月定例会号をお届けします。議会だよりは3・6・9・12月定例会の2か月後に発行しています。町広報で既に伝えられている内容も多いことをご理解ください。コロナ禍が落ち着いていた12月定例会では、主に補正予算の審議を行いました。新たに建設中の浄水場施設において、600万円の専決処分についても多くの意見が出されています。また、総務常任委員会、産業建設常任委員会の現地視察報告が各委員長からされています。議会も終わり、年末年始を無事に迎えられると安堵していたところに、感染力の強いオミクロン株が日本中を覆いつくし始めました。3回目のワクチン接種がスムーズに行われ、笑顔で挨拶ができることを願っています。(城田幸俊)

みんなの声を市政に



「陳情」「請願」をご存じですか？

町政への要望や意見を議会に提出することができます。議員の紹介のあるものを請願、ないものを陳情と呼んでいます。

提出された陳情・請願は、議会運営委員会で協議し、付託された委員会で審査することに決定したものは慎重に審査され、本会議で最終的に採択か不採択になります。採択されたものは、町長などにその結果を伝え実現を図ります。